

添田町農業委員 農地利用最適化推進委員 紹介

農地に関する困りごとや、就農に関する相談などは地域の農業委員、農地利用最適化推進委員まで連絡ください。連絡先が分からない時は役場農林業振興課 農業振興係(☎82-1237)に問い合わせください。

庄地区

尾形 吉則 【農業委員】	小畑 眞二 【推進委員】
-----------------	-----------------

添田地区

照瀬 保道 【農業委員】	堀 由香利 【農業委員】
-----------------	-----------------

中元寺地区

岡崎 雄一 【農業委員】	鎌田 英彦 【農業委員】
-----------------	-----------------

野田地区

宮岡 雅夫 【推進委員】

西 豊
【推進委員】

梶田地区

宮崎 央二郎 【農業委員】	黒崎 延和 【推進委員】
------------------	-----------------

落合地区

内野 恭一 【農業委員】	梅野 隆成 【農業委員】
入口 富士男 【推進委員】	

英彦山地区

藤岡 宏康 【推進委員】

津野地区

高瀬 千束 【農業委員】	森元 孝志 【農業委員】
宇野 公康 【推進委員】	

委員一覧（議席順・敬称略）	
農業委員	内野 恭一【会長】
	高瀬 千束【副会長】
	照瀬 保道
	鎌田 英彦
	森元 孝志
	堀 由香利
	梅野 隆成
	尾形 吉則
	岡崎 雄一
	宮崎 央二郎
農地利用最適化推進委員	（欠員）
	宇野 公康
	藤岡 宏康
	入口 富士男
	黒崎 延和
	西 豊
	宮岡 雅夫
	鈴見 敏憲
	小畑 眞二

地域の農地を守り、未来へつなぐ

農業委員と農地利用最適化推進委員の活動

私たちの暮らしを支える「食」を生み出す農地。農業者の高齢化や担い手不足などで、農業・農地を取り巻く環境は劇的に変化しています。そのような中でも農地を守り、有効に活用していくために地域で活動する添田町農業委員と添田町農地利用最適化推進委員が決まりました。

☎ 添田町農業委員会(☎82-1237)

農地は地域の大切な財産です

- ◎ 食料を生産する大切な場所
- ◎ 美しい田園風景の形成
- ◎ 水源や自然環境の保全
- ◎ 災害（水害）の予防

農業委員会とは

農業委員会は、農地を守るために法律に基づいて設置されている行政委員会です。添田町農業委員会では毎月10日頃、11人の農業委員と8人の農地利用最適化推進委員が集まり、農地の売買や貸し借り、農地を用途変更する場合の許可などを審議しています。

農業委員の仕事

農業委員は、「農地の管理・処分に関する許認可」と「農地利用の最適化」の2つを主な仕事とし、地域の農業を守り発展させるための責務を担っています。

- ▷ 農地の権利移転や転用の許可
- ▷ 農地の利用状況調査・現地確認
- ▷ 遊休農地に関する調査・指導
- ▷ 農業従事者からの相談対応 など

農地利用最適化推進委員の仕事

農地利用最適化推進委員は、担当する地域を回り農地の状況を確認しながら、農地の有効活用や担い手支援などを行う、地域のリーダーです。

- ▷ 担い手への農地の集積・集約化の推進
- ▷ 耕作放棄地の発生予防や解消
- ▷ 農地利用状況の確認・見守り
- ▷ 地域と農地をつなぐ相談窓口 など

数字で見る添田町の農業

全国的に「後継者不在」と「経営主の高齢化」を背景に農家数は減少を続けています。添田町でも同様に、農業を担う人の減少や高齢化が進み、農地面積も、農家数の減少に伴う「耕作放棄地の増加」などにより、年々減少しています。これらの問題への対策として町では農道や水路の草刈り、清掃、補修などの地域活動を支援し、地域ぐるみで農地や農村環境を守ること、農業を続けやすい環境づくりにつなげる「多面的機能支払交付金」や、将来の農業を担う新規就農者の確保・育成を目的に、就農前後の経営を支えるため、資金面

での支援などを行う「新規就農者育成総合対策事業」で、新たに農業を始める人が安心して経営をスタートできるよう、県などの関係機関と連携しながら農業従事者を支援しています。これらの取り組みを通じて、農地を守り、地域農業を次の世代へつなげていくため、担い手の確保や農業環境の維持に取り組んでいます。

	水稲作付面積	農家数
平成27年	約269ha	493戸
令和2年	約252ha	379戸
令和7年	約231ha	301戸